

LPガスCP情報(2016年2月積み)

1. 2月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **285** ドル (前月比-60 ドル) 2004年3月以来の水準
ブタン **315** ドル (前月比-75 ドル) 2004年4月以来の水準

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が急落するなか、LPガススポット市況は暖冬により第2週まで需給緩和で大幅に続落、CP先物、CFR市況も急落した。第3週末には原油市況の反騰と記録的な寒波により反発、軟化していた極東CFR市況もフレート市況が続伸、中国の春節前需要、PDH需要などにより、第3週は30 ドル 上昇しプロパン340 ドル 、ブタン360 ドル どころでディスカウント幅が縮小した。

ナフサは原油市況に連れ軟化、月初の420 ドル から第4週には300 ドル まで下げた。月間平均では348 ドル 、前月比75 ドル の急落。バンカーオイルも原油市況に追随して大幅に軟化し月間平均では149 ドル 、前月比30 ドル の大幅続落となった。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格は、全米プロパン在庫が減少しているものの、原油市況軟化に追随、15日にはプロパン154 ドル 、ブタン200 ドル に下げたが、寒波による需要増加で22日にはプロパン175 ドル まで戻した。NWE(北西ヨーロッパCIF)市況も原油市況に連れ安、第3週末には反発しプロパン240 ドル 、ブタン270 ドル どころ。

2月CPは前年同月比プロパン、ブタン165 ドル のそれぞれ下落。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン10ポイント、ブタン9ポイント上昇。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	52	56	60		56
CP先物指標：P	275	260	290		275
CP先物指標：B	295	285	315		298

② 原油市況等

原油市況をみると、WTIは1月36 ドル 台でスタートしたが、中国経済失速を契機とした世界的な株安によるリスク回避の動きが強まったほか、需要減退懸念と供給過剰(OPEC、非OPECともに増産)による需給不均衡が拡大、全米原油在庫、クッシング在庫も各最高水準に達したため15日には30 ドル を割り込み、20日には2003年5月以来の安値となった。第4週は売られ過ぎ感とOPECとロシアによる協調減産期待から32 ドル まで戻している。

一方、NYMEXのWTI総取組高は27日時点で176万枚、前月末比11万枚の増加となったが、大口投機玉の買越残高は19日で17.9万枚と前月比1.3万枚減少。売建玉が急増。

○1月積みアラビアン・ライト(1月1~28日)は25.40 ドル (前月比-7.9 ドル)

熱量等価AL100% プロパン208.25 ドル/トン ブタン205.40 ドル/トン

AL比 プロパン136.85% ブタン153.36%

*上記アラビアン・ライトはE I N推計値、確定値は後日、Webサイトでご確認ください。

2. 2016年2月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	120.16	37,900	42,400	-11,800	-11,000
26~25日②	119.56	37,700	42,100	-11,900	-11,200
1~30日③	119.20	37,500	42,000	-11,900	-11,100

*TTS平均は①が12月21日~1月20日まで、②は12月26日~1月25日

③は1月1~28日、①、②、③ともに2月仕切適用。①、②、③いずれも

前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。